

コミュニティ・スクール

C S だより

皆さんこんにちは。学校と浮島地区をつなぐCSディレクター、3丁目の川口です。今年は天気の話ばかりしていますが、それだけ気になる気候。11月だというのに夏日のような暑さがあり、まともに衣替えができません。私は、寒さは苦手なのでありがたいことですが、四季がなくなってしまうのではないかと心配になります。体調管理も難しいですね。

【10月30日（月）拡大学校運営協議会】

トークフォークダンスを行いました。フォークダンスといっても、踊りませんよ。大人が内側の円、子供が外側の円。向かい合わせで座り、出されたお題について1分間話をするだけです。聞く人の約束として基本的にはしゃべらない。感想は言わない。沈黙は考えている時間とし、広い心で待ちます。話す人の約束は、話す内容に正解はなく、うまく話せなくても問題なし。相手の気分が悪くなるような言葉は使わないこと。相手にわかりやすい言葉で話すこと。お互いが話し終わったら、子供たちの方が席を隣に移動する・・・ということで、トークフォークダンスです。まず、1分間でお互いの自己紹介をします。質問内容は以下の通りでした。



- ・今日の朝食は何でしたか？
- ・ドラえものの道具で、一番欲しいものは何ですか？またそれはなぜですか？
- ・困っていること、苦手なこと、悩んでいることは何ですか？
- ・将来の夢は何ですか？どんなことをしてみたいですか？（児童への質問）
- ・思い出してみてください。自分が小学生の頃の夢は何でしたか？また、それは叶いましたか？（大人への質問）
- ・どんな大人になりたいですか？（児童への質問）
- ・浮島地区の子供たちに、どんな大人になってほしいですか？（大人への質問）

最初は、お互いが緊張しているせいか、時間が余っていたように感じましたが、だんだんと1分では足りない！そんな空気感が伝わってきました。

次に、振り返りとして、感想や意見を付箋に書きました。たくさんあった中から抜粋します。

- 交流の場がもてて、うれしかった。
- 自分の子供とは違う意見を聞くことができてよかった。
- 子供の頃を思い出し、懐かしかった。
- しっかりと夢を持てる子がいてうれしかった。
- 大人の方もとても話やすく、親身になって聞いてくれて、こんな大人にもなりたいと思った。
- 地域の未来について、お互いの思いも聞いてみたい。
- 相手の話をただ聞くだけということは難しかった。

最後の、ただ聞くだけということは難しかったという感想は、話が盛り上がってしまうから感じるものではないでしょうか。いろいろな人と話すことが目的の一つなので、時間で区切っていること、相手に自分の意見を伝えるという練習があると思います。グループ交流もいいですが、それでは話す子と話さない子がでてしまいます。今回のトークフォークダンスは、参加者に大変好評でしたので、次回は時間を拡大して、またやってみたいと思いました。



【10月のできごと】



10月24日(火) 2年 太極拳体験



10月27日(金) 1年 須津小と一緒に広見公園で秋見つけ！



10月31日(火) 2・3年 ハロウィン

